

《課題名》

当院における間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術の治療評価

《研究対象者》

滋賀医科大学附属病院泌尿器科において2011年1月1日から2021年3月31日までに間質性膀胱炎に対して膀胱水圧拡張術を施行した方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：当院における間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術の治療評価

研究期間：倫理委員会承認日（2019年07月22日）～2024年6月30日

研究機関・実施責任者：滋賀医科大学 泌尿器科 吉田哲也

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術の手術方法は決まったものではありません。当院での手術成績、手術合併症の有無、治療成績を検討することは、今後の治療方針の選択の一助となると考えます。

（３）研究の方法について

《研究の方法》

当院において骨盤臓器脱に対して治療された方のデータを診療録より抽出します。

- (1) 治療成績（排尿記録、等）
- (2) 問診票（国際前立腺症状スコア（IPSS）、過活動膀胱症状質問票（OABSS））
- (3) 手術・周術期合併症の有無
- (4) 長期合併症の有無
- (5) 残尿測定
- (6) 尿流動態検査（尿流測定、膀胱内圧測定、内圧尿流検査）
- (7) 臨床検査値の有意な変動の有無
- (8) 医療記録、あるいは患者の問診から入手可能であれば患者背景（年齢、身長、体重、治療歴、既往歴・合併症、服薬歴、水分摂取習慣、等）

（４）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、(2021 年 5 月 31 日までに) 下記 (8) にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

担当者 滋賀医科大学 泌尿器科学講座 助教 吉田哲也

住所 : 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号 : 077 - 548-2273 (滋賀医科大学泌尿器科医局)

メールアドレス : yoshida9@bell.e.shiga-med.ac.jp